

災害対策用ヘリコプター「愛らんど号」緊急着陸について

西条市東之川で昨日発生した山腹崩壊箇所の現地調査のため、パイロット等3名、四国地方整備局職員2名、西条市職員4名、計9名を乗せ、本日9時03分に高松空港を離陸した災害対策用ヘリコプター「愛らんど号」は、飛行中、トランスミッションの潤滑油に金属片を検知したことを示す警告灯が点灯したため、9時22分香川県観音寺市瀬戸町の下水浄化センター北側サッカー場に緊急着陸しました。

着陸後、警告灯は消え、点検した結果、飛行には問題ないと判断し、12時00分高松空港へ向け離陸し、現在は高松空港に着陸しています。

なお、搭乗者にケガ等はなく、機体に損傷等はありません。

今後は、詳細に点検し原因究明を行う予定です。

平成24年 9月 5日

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 企画部

総括防災調整官 宮本 正司(内線2119)

防災課長 上林 正幸(内線3411)

TEL(087)851-8061(代 表)

(087)811-8310(ダイヤルイン)